

日本カントリークラブ ローカル・ルールス

- 1.ラテラル・ウォータハザードは赤杭または線、修理地は青杭または白線、アウト・オブ・バウンズは白杭をもって標示する。
現にプレーしているホールの白杭を越えて隣のホールに入った球はすべて OB とする。
(4 番と 7 番、7 番と 8 番、10 番と 11 番、12 番と 18 番、13 番と 15 番、16 番と 17 番、17 番と 18 番)
- 2.樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
巻物施設は「障害物」ではないので、意図するスイング区域、スタンスなどに対して障害が生じても救済を受けることはできない。また、その巻物施設に球が挟まった場合、罰なしに救済を受けることはできず、打てないのであればアンプレヤブルの処置(規則 28)をとることになる。
- 3.特定地域の境界を示す杭およびホールまでの距離を示す杭は「動かせない障害物」である。
- 4.(1) 予備グリーン及び目的外のグリーンに球が乗り、またはスタンスがかかるときは、ホールに近づかず、ハザード外およびグリーン外の場所で、球の止まっている箇所に最も近い地点をコース上に決定したのち、罰なしに球を拾い上げて、その地点から 1 クラブルングス以内にドロップしなければならない。(拾い上げた球はふくことができる)
(2) 本項の予備グリーン及び目的外のグリーンは、その周辺の所謂カラーを含むものとする。
- 5.スルー・ザ・グリーンにおいて、自己の球がその勢いで作った穴にくい込んでいるときは、罰なしに拾い上げ、球の止まっている箇所にできるだけ近く、かつホールに近づかない箇所にドロップすることができる。(拾い上げた球はふくことができる)
- 6.ラウンド中、プレーを終わったホールのグリーン上やその近くで練習ストロークを行ってはならない。
本ローカル・ルールの反則は、ストローク・プレーはそのホールに 2 打付加。但し 6.の場合は次のホールに 2 打付加。

臨時ローカル・ルールス

1. 4 番、7 番、12 番、17 番ホールにおいて第 1 打が OB のときは前方特設ティより第 4 打として、プレーしなければならない。

2. 5 番と 6 番の各ホールの縞杭を越えた球は縞杭の境界線を最後に越えた地点で縞杭の線より 2 クラブルングス内にドロップすること。縞杭を越えた球を探さなくても、プレーヤーは別の球をイン・プレーにすることができる。罰打は何れの場合も 1 打付加。

大会追加ローカル・ルールス

1. コース内の黄色と黒の縞杭はアウト・オブ・バウンズ (O.B.) を標示するものとする。

ヤーデージ (B グリーン予定)

HOLE	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
PAR	5	4	5	4	4	3	4	3	4	36
Front	390	273	396	201	306	175	206	108	342	2,397
Regular	510	377	476	334	420	175	337	108	440	3,177
HOLE	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN
PAR	4	3	5	4	4	4	3	5	4	36
Front	275	108	422	230	276	317	110	419	251	2,408
Regular	367	148	510	396	276	317	178	495	349	3,036

男性：Regular（白） 女性：Front（緑）

※上記の数値は予定であり、当日のコース状況により変更する場合があります。

以上

2018年3月1日
 インター倶楽部ゴルフトーナメント
 競技委員会